

つくりかけラボ04

飯川雄大 | デコレータークラブ

0人もしくは1人以上の観客に向けて

会期 2021年7月14日(水)～10月3日(日)

観覧料 無料

休館日 8月2日(月)、9月6日(月)

会場 千葉市美術館4階 子どもアトリエ

開館時間 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで)

主催 千葉市美術館

つくりかけラボとは、「五感でたのしむ」「素材にふれる」「コミュニケーションがはじまる」いずれかのテーマに沿った公開制作やワークショップを通して空間を作り上げていく、参加・体験型のアーティストプロジェクトです。いつでも誰でも、空間が変化し続けるクリエイティブな「つくりかけ」を楽しみ、アートに関わることができる表現の場です。

つくりかけラボ04では、美術家の飯川雄大さんをお迎えます。タイトルの「デコレータークラブ」とは、海藻や小石を身につけて姿を変えるカニのこと。飯川さんは、このカニを発想の原点に、鑑賞者の気づきや反応を誘うさまざまなプロジェクトを行ってきました。今回のサブタイトルは「0人もしくは1人以上の観客に向けて」。いったいどんな作品が姿をあらわすのでしょうか。いつもとはちょっとようすのちがう千葉市美術館をお楽しみください。

※会期中、会場内メンテナンス作業を予定しています。作業日・時間帯については美術館ホームページでお知らせいたします。なお、作業中は室外からご覧いただけます。

※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。

・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。

※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

アーティストからのメッセージ

「デコレータークラブ」シリーズは2007年から始まりました。飾り付けをするクラブ活動みたいですが、世界中の海に生息し擬態する性質を持った蟹の名前（Decorator Crab）に由来しています。

昔、この蟹を紹介するドキュメンタリー番組を見たのですが、ダイバーが海の中で何だかわからないモノ（実は蟹）を見つけたときの驚きが全く伝わってこなくて。たくさんの言葉や映像を使っても、どうしても伝えることができない部分があるということが面白かったです。

蟹は天敵から身を守るため、誰にも見つからないように行動しているだけ。でも、人は勝手に特別な状況だと感じたり、別の価値を付けたり、一方通行のコミュニケーションから新しい要素を生み出しています。「デコレータークラブー0人もしくは1人以上の観客に向けて」では、蟹と園周辺に起こったズレを、美術館と観客の間にも作ることはできないだろうかと考えました。蟹のふりをして。



飯川雄大（いいかわたけひろ）

1981年 兵庫県生まれ、同地を拠点に活動。人の認識の不確かさや、社会の中で見逃されがちな事象に注目し、鑑賞者の気づきや能動的な反応を促すような映像やインスタレーションを制作。2019年「六本木クロッシング2019展：つないでみる」（森美術館）、「美術館の七燈」（広島市現代美術館）に出品。2020年は、ヨコハマトリエンナーレ2020「Afterglow 一光の破片をつかまえる」、高松市美術館の個展「デコレータークラブー知覚を拒む」など。

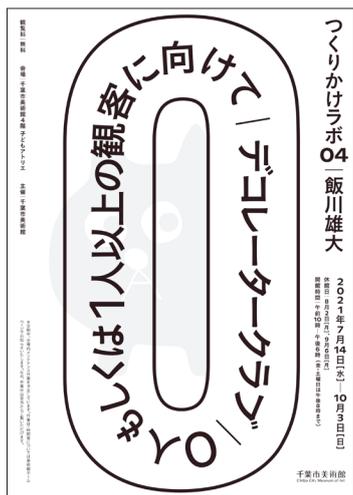
<https://takehiroikawa.tumblr.com>

同時開催

- ▶ 企画展「平木コレクションによる 前川千帆展」 2021年7月13日(火)～9月20日(月・祝)
- ▶ コレクション展「江戸絵画と笑おう」 2021年7月13日(火)～9月20日(月・祝)
- ▶ 常設展「千葉市美術館コレクション選」

次回予告

- ▶ つくりかけラボ05 松本力 | SF とりはうたう ひみつを 2021年10月16日(土)～12月26日(日)



広報用画像

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。ぜひ、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的のみにご使用ください。

1. つくりかけラボ04 | 飯川雄大 デコレータークラブ -0人もしくは1人以上の観客に向けて メインビジュアル



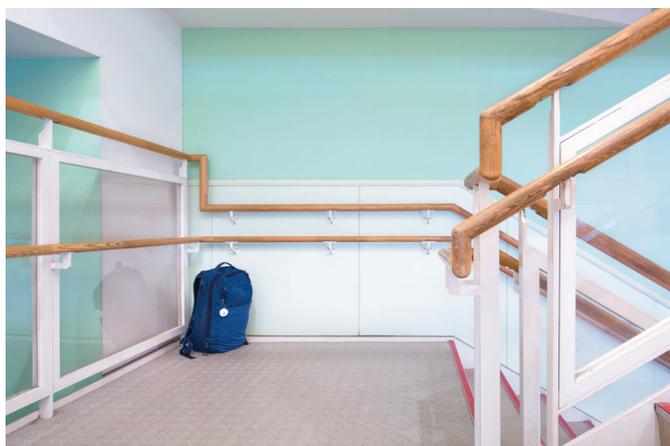
2. 《デコレータークラブ -0人もしくは1人以上の観客に向けて》2019年 | 木材、塗料 | サイズ可変 | アートセンターオンゴーイングの展示風景(2019) | 撮影: 飯川雄大 ※壁画は、Dex Fernandez / Garapatay 2016



3. 《デコレータークラブ - 知覚を拒む》2020年 | 木材、塗料 | サイズ可変 | 高松市美術館の展示風景(2020) 撮影: 飯川雄大



4. 《デコレータークラブ - ピンクの猫の小林さん》2020年 | 木材、蛍光塗料 | サイズ可変 | 並木クリニック中庭の展示風景(2020)、横浜市金沢区並木団地 | 撮影: 阪中隆文



5. 《デコレータークラブ - べりーへびーバッグ》2010年 | バッグ6点、ビデオ(サウンド、50秒) | ヨコハマトリエンナーレ2020、プロット48の展示風景 | 撮影: 大塚敬太 写真提供: 横浜トリエンナーレ組織委員会



6. 《デコレータークラブ 配置・調整・周遊》2020年 | 木材、塗料 | サイズ可変 | ヨコハマトリエンナーレ2020、プロット48の展示風景 | 撮影: 飯川雄大

広報用画像データ申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1申込について1回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。

千葉市美術館
 広報担当 磯野 行
 FAX：043-221-2316
 E-mail：isono@ccma-net.jp

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. つくりかけラボ04 | 飯川雄大 デコレータークラブ —0人もしくは1人以上の観客に向けて メインビジュアル
2. 《デコレータークラブ —0人もしくは1人以上の観客に向けて》 2019年 | 木材、塗料 | サイズ可変 | アートセンターオンゴーイングの展示風景(2019) | 撮影: 飯川雄大 ※壁画は、Dex Fernandez『Garapata』2016
3. 《デコレータークラブ —知覚を拒む》 2020年 | 木材、塗料 | サイズ可変 | 高松市美術館の展示風景(2020) | 撮影: 飯川雄大
4. 《デコレータークラブ —ピンクの猫の小林さん》 2020年 | 木材、蛍光塗料 | サイズ可変 | 並木クリニック中庭の展示風景(2020)、横浜市金沢区並木団地 | 撮影: 阪中隆文
5. 《デコレータークラブ —ベリーヘビーバッグ》 2010年 | バッグ6点、ビデオ(サウンド、50秒) | ヨコハマトリエンナーレ2020、プロット48の展示風景 | 撮影: 大塚敬太 写真提供: 横浜トリエンナーレ組織委員会
6. 《デコレータークラブ 配置・調整・周遊》 2020年 | 木材、塗料 | サイズ可変 | ヨコハマトリエンナーレ2020、プロット48の展示風景 | 撮影: 飯川雄大

問い合わせ先

千葉市美術館

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8

広報担当：磯野 愛

Tel. 043-221-2311(代表) / 043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. <https://www.ccma-net.jp/>